

「**鍬柄舞**」  
くわがらまい

明<sup>あ</sup>きの方<sup>ほう</sup>から 田<sup>た</sup>耕<sup>こう</sup>に 来<sup>き</sup>ました

一<sup>ひと</sup> 鍬<sup>くわ</sup>ざんぶりしよ 一<sup>ふた</sup> 鍬<sup>くわ</sup>ざんぶりしよ

三<sup>みっくわ</sup>鍬<sup>くわ</sup>めの 鍬<sup>くわ</sup>先<sup>さき</sup>に 金<sup>きん</sup>銀<sup>ぎん</sup>宝<sup>たから</sup>を 掘<sup>ほ</sup>り出<sup>だ</sup>して

旦那<sup>だんな</sup>さんは 金<sup>かね</sup>勘<sup>かん</sup>定<sup>じょう</sup>

おっかみさんは 銭<sup>ぜに</sup>勘<sup>かん</sup>定<sup>じょう</sup>

おんすんすんおんすんすんおんすんすんすん

「たうえおど  
田植踊り」

(前半)

山やまの中なかに 舅しゅうとを持もてば

あぢなるものを見みる

※ 「ハ、ヨイヤソシ ヨイヤソシ ヨイ」

見みて来きたや 鹿かの猪いに 馬ま鍬ぐわを添そえて

猿さるめが鼻はな取とりとサさる

今け朝さの 寒さむさに 浅あさ川かわこえて

娘むすめなに取りとりに来きる

うらに千ち鳥どり 巴とむえの御ご紋もん

手てん箱ぼこ 取とりに来きる

※

(後半)

今日の田植の田主様は

きょう たうえ たんぬしさま  
おおがねも  
大金持ちとキいろ

※ 「ハ、ヨイヤソレ ヨイヤソレ ヨイ」

聞こえたや奥は奥州

き なんぶ おく おおしゅう  
南部や津軽 外ヶ浜までもサ

※ 「ハ、ヨイヤソレ ヨイヤソレ ヨイ」

苗の中のうぐいす鳥は

なえ なか とり  
なに なん い  
何を何と云うてえ ナ

※ 「ハ、ヨイヤソレ ヨイヤソレ ヨイ」

お蔵斗枡にとがきを添えて

くらとます たわら つつ つ そ  
俵積み積み 弥十郎とナ

※ 「ハ、ヨイヤソレ ヨイヤソレ ヨイ」